

研 修 部 だ よ り

全体研修 1

より充実した教育を目指して － 個と集団両面から考える －

5月11日(木)、今年度1回目の全体研修を行いました。本校のスクールカウンセラーである上野弘司先生に下記の内容をお話いただきました。

- ①教育における「実存危機」の可能性
- ②教育における「自己不全感」の可能性
- ③教育専門家としてのプロ意識の再確認
- ④人権意識の再確認と人権教育の充実
- ⑤プロ意識を問う具体例

プロ野球やお笑い芸人と違い、教師の成果は見えにくく、プロ意識をもつことが難しい職業だと言えます。人権教育を充実させ、人権意識を高めることがプロ意識をもつことにつながると知りました。また、そのことが教師と保護者との適切な距離感を保つことにもつながります。

研修後に実施したアンケートでは、同僚・児童生徒への接し方や発言を考え直すことや、人権を意識した教育活動の必要性について書かれていました。



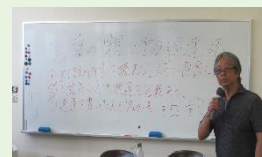
全体研修 2

言葉のおくりもの 速達便法 － 和歌山盲学校編 －

7月11日(火)、上野先生による2回目の全体研修を行いました。予め、グループのメンバーの良いところを書いて封筒に入れておいたものをお配りし、読んでいただきました。

- ①1人ずつ順番に封筒の内容を読む
- ②1番気に入った速達を発表する
- ③速達を書いた人が名乗り出る→拍手！感謝！
- ④全体で共有

～ 上野先生より～
教師は褒めることが仕事です。



良い仕事をするためには褒め上手になることが必要です。仲間同士が仲良くないと良い仕事はできません。仲良くなる機会をどんどん作りましょう。ここで集まり研修をしているのも、偶然ではなく必然です。だからこそ、お互いに大事にしないとイケません。それが良い仕事につながります。幼児児童生徒もご縁があって関わっています。もっとかわいがって、もっと褒めましょう！

